



黄庭古禅医道の心領神会、帯功導引とは何ですか？

1. 『黄庭内景経』について

『黄庭内景経』は、著名な書道家王羲之の師匠である魏華存夫人が編集したものです。

伝説によると彼女は道教の仙女です。この本は、人間の脳、古代の記憶そして道教思想と古代医学を組み合わせた本であり、現代の健康維持の為の重要な参考資料でもあります。

養神（精神を養うこと）は、中国で最も特徴的で賢明な健康維持方法です。この方法は『黄庭内景経』から来ています。梁蔭全先生が『黄庭内景経』の最も科学的で実用的で古典的な伝統的な自然の健康維持法を先駆的に研究と応用を行い完璧な段階に到達させました。梁蔭全先生は、中国広東省南海ギルドホールの巨大な壁に大理石で『黄庭内景経』のコアコンテンツを彫り、人々が見学し、学ぶことができるようにしました。

歴代の文芸家や修鍊者達は、

『黄庭内景経』を特別に好み、詩人李白も詩の中で

“山陰道士如相見、應以黄庭換白鶴”
「もし山で道教の修鍊者と会ったら
黄庭を白鶴と交換すべきだ」

と述べています。

当時の黄庭の実用的な価値を証明するのに十分な話です。

2. リモートヒーリングと パワーガイダンスの科学

1995年には、中国の航空宇宙産業省、北京師範大学、日本の通商産業省が協力して、水分子の変化に関する長距離実験を実施しました。

当時、梁蔭全先生は東京で瞑想状態にあり、北京のある研究室で水分子の構造を変えるという彼の精神エネルギーに焦点を当てていました。

1時間後、北京の研究者は、そのような実験を20回繰り返し例外なく水分子の構造が変更されたことを確認しました。

人体の70%が水でできているため遠隔療法の原理はこれと同じです。梁蔭全先生は、この技術を使用して30年以上にわたって、末期がん患者を遠隔治療し、無数の患者を支援してきました。

リモートトリートメント（遠隔療法）
パワーガイダンス（帯功導引）
エネルギーヒーリング（能量療癒）は
人体の磁場の生体電気に基づいた
一種のライフサイエンスであり、
意識の力を使用して、量子情報
フィールドを形成し、比較的明白な
磁場のクリーニングとヒーリングの
効果を実現します。

従って、黄庭の内神功の癒しは
本質的に技術であり、生命科学であり
あらゆる宗教に浸透しています。

